

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 26. 6. 18 第 186 回国会第 20 号

6 月 18 日（水）、第 20 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・林農林水産大臣、後藤田内閣府副大臣、江藤農林水産副大臣、福岡内閣府大臣政務官、小里農林水産大臣政務官、磯崎経済産業大臣政務官、土井国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

武井俊輔君（自民）

- ・ニホンウナギの資源管理に対し、農林水産省はどのように取り組む考えか。
- ・地方自治体は、今般の農協改革をどのように受け止め、行動すべきと考えているか。
- ・今般の農協改革に不安を感じている条件不利地域、小規模農家に対し、不安を払拭させるメッセージを発するべきではないか。

樋口尚也君（公明）

- ・「今後の商品先物市場のあり方について（中間整理）」（平成 19 年 12 月 7 日 産業構造審議会商品取引所分科会）において、どのような提言がなされ、提言に基づきどのような取組が行われてきたのか。
- ・「日本再生ビジョン」（平成 26 年 5 月 23 日 自由民主党日本経済再生本部）等を踏まえ、総合取引所の設立を可及的速やかに行うべきではないか。
- ・総合取引所の設立に向け、関係閣僚とも相談の上、農林水産大臣が率先して取り組むべきではないか。

篠原孝君（民主）

- ・規制改革会議・産業競争力会議のメンバーの人事について農林水産省として意見を出さなかったのか。
- ・中央会が単位農協の自主性を損ねた具体例はあるのか。また、全国農業協同組合連合会を株式会社化するメリットは何か。
- ・今般の規制改革会議の答申は、若い担い手が安心して農業に就くことのできる提言となっていないのではないか。

林宙紀君（結い）

- ・緑の防潮堤の樹種を伝統的に植えられていたクロマツから常緑広葉樹に変更したプロセスはどのようなものか。
- ・クロマツと常緑広葉樹の根の張り方及び津波に対する強

度の違いはどのようなものか。

- ・樹種の選定等を含めて、今後、国土交通省及び林野庁はどのように連携を図っていくのか。

畑浩治君（生活）

- ・国産の薪ストーブに木材利用ポイントを付与し、国産木材の活用推進を図るべきではないか。
- ・日本酒等の米の加工品について、どのような輸出戦略を立てているのか。
- ・加工原料乳生産者補給金制度の補給金の受給について、指定生乳生産者団体への生乳出荷を条件としている理由は何か。また、そのような条件は廃止すべきではないか。

重徳和彦君（維新）

- ・養鰻の実態を把握し、ニホンウナギについて適切な漁業管理を行うことで、ワシントン条約の附属書への掲載を回避できるのではないか。
- ・親ウナギの放流の意義について、どのように考えているか。
- ・ウナギの完全養殖の技術開発について、どのような見通しを持っているのか。

岩永裕貴君（維新）

- ・農業高校の卒業生の就農促進に向け、文部科学省と連携した取組を進めるに当たり、農林水産大臣はどのような決意で臨むのか。
- ・農地中間管理機構が中山間地域における耕作放棄地対策にどのような役割を果たすと考えているのか。
- ・CLT（直交集成板）の普及・市場流通に向け林業現場ではどのように準備を進めているのか。

村岡敏英君（維新）

- ・農業改革の実行、農林水産業の発展に向けた農林水産大

臣の決意を伺いたい。